

白樺と虹と太陽と

令和5年度 校長通信

8月24日発行

第6号

文責 中野善文

40s 『ソーラン半纏』『背景幕』『校旗』『のぼり旗』

学校運営協議委員の皆様のご助言ご支援の下、制作にとりかかっていた山形中学校PTAオリジナルのソーラン半纏と背景幕、校旗とのぼり旗が遂に完成しました。生地やデザイン等、何度も試行錯誤を重ねましたが、その都度多くの関係者から見本や資料をご提供いただき、創立40周年にふさわしいものが出来上がったと自負しています。



これらは、山形町の地域活性化や町おこしのために積極的に活動する団体に対する支援金と旧霜畑中学校学校林から引き継いだ山形中学校PTA特別基金により制作しました。

先日の「ガタゴンまつり」でお披露目をしましたが、今後は「闘牛大会」等の地域イベントに出演する際に活用するとともに、10月の町民総合文化祭および県中学校総合文化祭のステージ発表でも活用します。



山中ソーランおよび合唱で、今後も地域を元気にし、地域と共に発展する学校を目指します。



日本一の白樺林と語り続けるために

今年も8月11日(山の日)に、平庭高原において白樺植樹が開催されました。コロナによる制限も解除され、県内外から多くのボランティアが参加し、250本の白樺の苗木と164本のつつじが植樹されました。本校からも3年生の親子参加を中心に、白樺林存続のために多くの生徒が参加したことをとても誇らしく思います。10年後・20年後に、家族で、友達同士で、成長した白樺とつつじをその目で確かめに行きましょう。思い出話に花が咲き、互いの絆がより一層深まるにちがいありません。



「日本一」を誇れるものが地元にあることは、とても誇らしいことです。しかし、この「日本一」を守り続けることは、決して容易なことではありません。「日本一の白樺林」と検索すると、そのほとんどが長野県の八千穂高原に関するものです。ただし、面積・本数等の根拠となる数値については示されていないので、日本一はどこか検証するには至っていません。明らかにしたい気もしますが…今後も日本一の白樺美林を名乗っていきたいと考えます。

もしも、日本一を名乗れなかったそのときには、「日本一奪還」を合言葉に、市や町を挙げて取り組まなければならないのでは…。故郷の宝をいつまでも大切にしたいものです。

◆名演！迷演？◆ 山中教職員による演劇WS

8月7日(月)に「おらほーる」を会場に、脚本家・こむろこうじ先生を講師にお招きし、本校教職員による演劇WS(ワークショップ)を開催しました。

こむろこうじ先生は、長年にわたって「おらほーる劇場」の中心的な存在として、この山形町を盛り上げてこられた方です。ご縁があって、11月の県中総文祭の演劇づくりのアドバイザーをお願いしました。



今回のワークショップの目的は、2学期から本格的に始まる演劇取組を前に、豊かな演劇を作り上げるために大切なことは何かを、先生方が実体験を通して学ぶことにありました。

内容は、こむろ先生が実際に手掛けた公演の一部を追体験する中で、練習の進め方をはじめ音響や照明などのもたらす効果を、実際に肌で感じることができました。わずか3時間ほどのWSでしたが、先生方のつくりあげたステージはとても素晴らしく、山中職員のチームワークと先生方それぞれの高い授業力が大いに発揮されました。

2学期から、3年生の座長ならびに各係長の指示のもと、本格的な取組がスタートします。私たち教職員も今回のワークショップを通して学んだことを指導に生かし、生徒と一緒に素晴らしい演劇を完成させ、文化祭や県中総文祭で披露したいと考えています。

熱中症対策 について

猛暑が続いています。学校では、熱中症危険指数をこまめにチェックしながら活動の可否および活動場所について判断しています。また、水分補給のほかに塩分補給として、部活動前にタブレットを配付しています。先日の地区陸上大会については応援団の帰校を早めましたが、体調不良者が出てしまいました。今回の反省も生かしながら、生徒の安全に留意した判断を進めていきます。状況によっては、下校を早めることをご了承ください。その際は、メールでお知らせします。また、下校後に体調不良をおこす事例が報道されています。帰宅後の健康観察についてどうかよろしくお願いたします。